

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三21」の推進について

上十三地域の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、発病を予防する一次予防の重視を基本に、重点戦略4領域（①栄養・食生活 ②こころの健康づくり ③たばこ ④アルコール）と、その他の領域（①身体活動・運動 ②歯の健康 ③糖尿病 ④循環器病 ⑤がん）の行動目標を掲げ、各領域で健康づくりを推進した。

健康上十三21の最終評価報告書を作成した。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会等を通して、健康づくり推進状況を把握し、効果的推進について支援した。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

保健所長が、全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として委嘱され、各市町村の推進協議会等へ出席した。

なお、十和田市生涯健康づくり推進協議会には専門部会が組織されており、その部会の委員として、健康づくり（母子・精神等）担当者が委嘱され、出席した。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	平成25年2月6日	心の健康づくり部会	健康づくり（精神）担当者
	平成25年2月13日	生活習慣病予防部会	保健所長、健康増進課担当
	平成25年2月15日	市民健康部会	健康づくり事業担当者
	平成25年2月21日	母子保健部会	健康づくり（母子）担当者
	平成25年3月19日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
三 沢 市	平成24年11月30日	健康推進対策協議会	健康増進課地区担当者
	平成25年3月19日	歯の健康づくり推進委員会	健康増進課歯科保健担当者
野辺地町	平成24年6月1日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成24年11月27日	健康づくり推進協議会	次長、健康増進課地区担当者
七 戸 町	平成24年12月14日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、健康増進課地区担当者
六 戸 町	平成24年7月23日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、健康増進課地区担当者
	平成25年3月18日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
横 浜 町	平成24年7月30日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成25年2月26日	健康づくり推進協議会	次長、健康増進課地区担当者
東 北 町	平成24年9月28日	健康づくり推進協議会	次長、健康増進課地区担当者
	平成24年11月21日	心の健康づくり推進協議会	健康増進課長
六ヶ所村	平成25年3月14日	健康づくり推進協議会	欠席

(4) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発を図り、「健康あおもり21」（たばこ領域）の基本指針及び行動目標を実現することを目的に、防煙・禁煙教室、受動喫煙防止対策推進のための研修会や空気クリーン施設の登録を行った。

ア 禁煙教室実施状況

	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
1	平成 25 年 1 月 16 日	十和田合同庁舎	禁煙講習会 講話 「喫煙と健康～禁煙のすすめ～」	上十三保健所 工藤所長	上北地域県民局職員 21 名

イ 世界禁煙デー・禁煙週間での取り組み及び取り組み状況のまとめ

- ・世界禁煙デーに十和田合同庁舎に館内放送の実施（2回）
- ・十和田合同庁舎及び喫煙室内へポスター掲示
- ・上北地域県民局職員に対し、喫煙防止普及啓発リーフレットのメール送信

ウ 研修会及び広報活動・調査等

- ・6月19日の食品衛生研修会及び給食施設栄養管理指導事業研修会において、空気クリーン施設のパンフレットを配布し、受動喫煙防止対策と空気クリーン施設推進事業の説明を行った。（参加者人数は、232名）
- ・10月17日、第54回上北地方学校保健・学校給食研究大会十和田大会兼第8回十和田市学校保健大会の第2分科会（テーマ 喫煙・薬物乱用防止）において、保健所長が実践発表に対する助言及びたばこの健康への影響、管内の禁煙対策等の説明を実施。
- ・所内における機会教育として結核検診時にパンフレット配布及び禁煙指導を実施。
- ・依頼に応じて教材等の貸し出しの実施。

＜貸出先＞（平成25年2月末現在）

貸出先	件数
学校関係	1件

＜貸出物品＞・ビデオ・たばこ教育セット

ウ 健康あおもり推進隊『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者、タクシー会社管理者に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に、「空気クリーン施設」の登録制度の普及を促進した。（平成25年3月末現在で274施設登録）

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況 (平成25年3月末)

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	6	4	19	40	2		5		6		4	5	91
三沢市	6	2	8	19			2		4				41
野辺地町			6	11			1						18
七戸町	7	8	15	13	3	7	5		1		12		71
六戸町	2	2	7	5		2			2		2		22
横浜町	1		4	1					2				8
東北町			6	4	2				1		2	1	16
六ヶ所村	1		5	2			1						9
合計	23	16	70	95	7	9	14	0	16	0	20	6	276

*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー車輛

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

*青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となっています。

(5) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に総会、研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成24年 6月14日(木)	上十三保健所	1 平成23年度事業報告について 2 平成24年度事業計画について 3 情報交換	保健協力員 8名 市町村職員 8名 保健所職員 2名
2	平成24年 7月30日(月)		1 平成24年度合同研修会について 2 各市町村活動の報告及び情報交換 3 県協議会総会・役員会報告	保健協力員 8名 市町村職員 6名 保健所職員 2名
3	平成25年 3月4日(月)		1 平成24年度事業報告について 2 平成25年度事業計画について 3 情報交換	保健協力員 16名 市町村職員 8名 保健所職員 2名

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 24 年 9 月 25 日 (火)	横浜町 ふれあいセンター	<総会> 1 平成 23 年度事業報告及び決算報告 2 平成 24 年度事業計画及び予算案	保健協力員 107 名 市町村職員 11 名 保健所職員 4 名
		<研修会> 講演テーマ:「知っ得 認知症のはなし」 講師:十和田市立中央病院 メンタルヘルス科診療部長 竹内 淳子医師 寸劇「じゅんちゃん一座」	

ウ 管内市町村保健協力員数

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	222	六戸町	77
三沢市	114	横浜町	63
野辺地町	100	東北町	176
七戸町	174	六ヶ所村	85
		計	1,011 名

2 母子保健事業関係

(1) 未熟児訪問指導実施状況

(平成24年度)

		訪問指導件数 (実人員)	<再掲>出生体重別件数 (実人員)				
			500~999g	1,000~ 1,499g	1,500~ 1,999g	2,000~ 2,499g	2,500g 以上
管内	十和田市	8(8)	1(1)	0(0)	3(3)	3(3)	1(1)
	三沢市	21(14)	0(0)	5(4)	9(4)	4(3)	3(3)
	野辺地町	2(1)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)
	七戸町	3(2)	0(0)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	六戸町	7(4)	0(0)	2(1)	3(2)	2(1)	0(0)
	横浜町	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	東北町	2(1)	2(1)	0(0)	0(0)	2(1)	1(1)
	六ヶ所村	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	小計	43(30)	3(2)	10(7)	17(10)	9(7)	4(4)
管外(里帰り等)計		7(6)	0(0)	0(0)	4(3)	1(1)	2(2)
合計		50(36)	3(2)	10(7)	21(13)	10(8)	6(6)

() は実人員

(2) 療育相談(肢体不自由児等)

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を年12回実施した。

(十和田会場10回、三沢会場2回)

(平成24年度)

市町村名	相談人員	再掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	43 (24)	7 (4)	4 (4)	32 (16)
三沢市	38 (12)	7 (5)	2 (2)	29 (5)
野辺地町	5 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (1)
七戸町	21 (7)	0 (0)	4 (3)	17 (4)
六戸町	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
横浜町	1 (5)	0 (4)	0 (0)	1 (1)
東北町	13 (6)	5 (0)	1 (2)	6 (4)
六ヶ所村	4 (2)	0 (0)	1 (0)	4 (2)
管外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	126 (58)	19 (13)	12 (11)	95 (34)

() は実人員

(3) 長期療養児療育相談指導事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児科専門医等による相談及び小児慢性特定疾患医療券交付時の面接による相談、新規申請者における日常生活の把握をし、支援強化を図った。

(平成24年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	随時相談	電話相談
相談件数	0	0	10	37	6

(4) 養育医療・育成医療給付申請等処理状況 (平成24年度)

市町村	区分	養育医療	育成医療
十和田市		2	34
三沢市		16	17
野辺地町		6	7
七戸町		3	1
六戸町		3	1
横浜町		1	0
東北町		2	3
六ヶ所村		0	1
管内計		33	64

(5) 小児慢性特定疾患治療研究事業

(平成24年度)

	区 分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	3	7	1	2	2	0	3	0	18
02	慢性腎疾患	3	8	2	1	1	0	1	2	18
03	慢性呼吸器疾患	0	1	0	1	0	0	0	0	2
04	慢性心疾患	9	13	3	3	0	0	5	4	37
05	内分泌疾患	16	7	1	5	3	1	2	3	38
06	膠原病	12	0	2	2	2	0	4	0	22
07	糖尿病	3	3	0	0	0	0	2	0	8
08	先天性代謝異常	2	1	0	1	0	0	0	0	4
09	血友病等血液・免疫疾患	2	1	0	1	1	0	0	0	5
10	神経・筋疾患	1	7	1	1	0	0	0	0	10
11	慢性消化器疾患	5	0	0	0	1	0	1	0	7
	計	56	48	10	17	10	1	18	9	169

(6) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業 (平成24年度)

疾患名	件数	疾患名	件数
悪性新生物	1	糖尿病	0
慢性腎疾患	1	先天性代謝異常	0
慢性呼吸器疾患	0	血友病等血液・免疫疾患	0
慢性心疾患	4	神経・筋疾患	3
内分泌疾患	1	慢性消化器疾患	1
膠原病	7	計	18

(7) 先天性代謝異常検査等実施状況 (平成24年度)

区分	先天性代謝異常検査					先天性副腎過形成症				先天性甲状腺機能低下症			
	件数	正常	疑陽性	判定不能	要精検	件数	正常	疑陽性	要精検	件数	正常	疑陽性	要精検
十和田市	359	359	2	0	0	357	357	0	0	363	356	6	1
三沢市	334	334	0	0	0	335	332	2	1	335	332	3	0
野辺地町	94	93	1	0	0	93	93	0	0	96	94	2	0
七戸町	97	97	0	0	0	98	98	0	0	99	97	2	0
六戸町	64	63	1	0	0	65	63	2	0	63	63	0	0
横浜町	41	40	1	0	0	40	39	0	1	40	40	0	0
東北町	111	111	0	0	0	111	111	0	0	112	111	1	0
六ヶ所村	79	77	2	0	0	77	77	0	0	77	77	0	0
計	1,179	1,174	7	0	0	1,176	1,170	4	2	1,185	1,170	14	1

(8) 妊婦連絡票実施状況

(平成24年度)

市町村名	妊婦届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別				指導方法別				産婦連絡票 要連絡・指導妊 産婦 L	内訳		妊婦連絡票の提出はないが、保健指導を実施した数 O (O/A)	
				～ 11週	12～ 19週	20～ 27週	28週 ～	窓 口	訪 問	電 話	そ の 他		受 理 数	妊婦		産婦
				d (d/C)	e (e/C)	f (f/C)	g (g/C)	h (h/C)	i (i/C)	j (j/C)	k (k/C)			m (m/L)		n (n/L)
十和田市	455	454 (99.8)	454 (99.8)	386 (85.0)	57 (12.6)	6 (1.3)	5 (1.1)	454 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	27	3 (11.1)	24 (88.9)	1 (0.2)	
三沢市	432	414 (95.8)	414 (95.8)	385 (93.0)	25 (6.0)	2 (0.5)	2 (0.5)	414 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	44	3 (6.8)	41 (93.2)	18 (4.2)	
野辺地町	108	108 (100.0)	108 (100.0)	94 (87.0)	12 (11.1)	1 (0.9)	1 (0.9)	108 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	17	5 (29.4)	12 (70.6)	0 (0.0)	
七戸町	81	80 (98.8)	80 (98.8)	65 (81.3)	13 (16.3)	2 (2.5)	0 (0.0)	80 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6	0 (0.0)	6 (100.0)	1 (1.2)	
六戸町	62	61 (98.4)	60 (96.8)	52 (86.7)	7 (11.7)	1 (1.7)	0 (0.0)	56 (93.3)	0 (0.0)	4 (6.7)	0 (0.0)	6	1 (16.7)	5 (83.3)	1 (1.6)	
横浜町	23	23 (100.0)	23 (100.0)	22 (95.7)	1 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
東北町	120	119 (99.2)	119 (99.2)	102 (85.7)	15 (12.6)	1 (0.8)	1 (0.8)	119 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19	11 (57.9)	8 (42.1)	1 (0.8)	
六ヶ所村	101	99 (98.0)	99 (98.0)	92 (92.9)	7 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	99 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7	2 (28.6)	5 (71.4)	2 (2.0)	
計	1,382	1,358 (98.3)	1,357 (98.2)	1,198 (88.3)	137 (10.1)	13 (1.0)	9 (0.7)	1,353 (99.7)	0 (0.0)	4 (0.3)	0 (0.0)	126	25 (19.8)	101 (80.2)	24 (1.7)	

()は%

(9) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制を整備する。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療・福祉及び教育等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議を行う。

回	期 日	場 所	出席者	内 容
1	平成 24 年 12 月 6 日	三沢市立 三沢病院	病院関係者 7 名 市町村保健師 18 名 保健所 6 名	1 三沢市立三沢病院から EPDS の実施状況報告 2 意見交換 妊産婦情報共有システム

イ 市町村毎の母子保健担当者打ち合わせ

市町村	日程	内 容
十和田市	平成 24 年 6 月 22 日	1 平成 24 年度の保健所・市町村母子保健事業 2 妊産婦の喫煙・再喫煙の予防 3 妊産婦情報共有システムの見直しに係る意見交換 4 エジンバラ産後うつ病スクリーニング及びカンファレンスの実施状況について 5 情報提供
三沢市	平成 24 年 6 月 25 日	
野辺地町	平成 24 年 7 月 2 日	
七戸町	平成 24 年 7 月 4 日	
六戸町	平成 24 年 7 月 2 日	
横浜町	平成 24 年 6 月 29 日	
東北町	平成 24 年 6 月 26 日	
六ヶ所村	平成 24 年 6 月 29 日	

ウ 平成 24 年度開催会議への支援

会議名	期 日	テーマ
十和田市健康づくり推進協議会 母子保健部会	平成 25 年 2 月 21 日	健康とわだ 21 評価
七戸町母子保健ネットワーク会議	平成 25 年 2 月 15 日	子どもの虐待予防

エ 医療機関との連携（医療機関主催）

期 日	医療機関名	対象者数	内 容	参加者数
平成 24 年 5 月 1 日	県立中央病院 NICU	1 名	・周産期母子医療センター情報室からの連絡により、NICU に入院し退院予定の新生児について、今後の方向等検討した。	保健所 1 名 (七戸町保健師 1 名)
平成 24 年 5 月 15 日		1 名		保健所 1 名 (十和田市保健師 1 名)

(10) 産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面へのサポート体制を構築する。

また、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成 24 年 12 月 6 日	三沢市立三沢病院 (母子保健ネットワーク 会議において)	医療機関 (三沢病院、十和田市立中央 病院、さとうクリニック) 7 名 市町村 (保健師、看護師) 18 名 保健所 6 名	三沢市立三沢病院から EPDS 実施状況について報告 各医療機関での課題

イ EPDS 等 (虐待例) 妊産婦のカンファレンス (上十三保健所は高得点者なし)

日 時	参 集 者	検 討 事 例
平成 24 年 6 月 26 日 八戸市立市民病院	八戸市民病院医師・看護師・助産師 十和田市保健師、児童相談所、保健所保健師	虐待したことのある 経産婦
平成 24 年 8 月 7 日 八戸市立市民病院	八戸市民病院医師・看護師・助産師 三沢市保健師、児童相談所、保健所保健師	虐待したことのある 経産婦
平成 24 年 10 月 12 日 野辺地町	町保健師、保健所保健師	精神疾患をもつ若年妊婦
平成 24 年 11 月 14 日 上十三保健所	町保健師、保健所保健師	精神疾患を持つ若年妊婦

(11) 乳幼児の虐待予防に関すること

要保護児童の早期発見や適切な保護並びに要保護児童及びその家族への適切な支援をする。また、特定妊婦の早期発見をし、適切な支援をする。

ア 市町村要保護児童対策協議会・ケース検討会への出席

市町村名	代表者会議	ケース検討会	内 容
十和田市	平成 24 年 5 月 31 日	平成 24 年 7 月 23 日	精神疾患を抱えて育児中の母
三沢市	平成 24 年 10 月 30 日	なし	
野辺地町	平成 25 年 3 月 19 日	なし	包括ケア会議(児童福祉部会)
七戸町	平成 24 年 6 月 12 日	なし	
六戸町	なし	なし	
横浜町	平成 24 年 6 月 28 日	平成 24 年 5 月 21 日	精神疾患を抱える母への支援
	平成 24 年 12 月 7 日		
東北町	欠席	欠席	
六ヶ所村	平成 24 年 11 月 15 日	欠席	

(12) 女性の健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：月1回（毎月第3火曜日） 受付時間：10:00～10:30

(イ) 場 所：上十三保健所 第1相談室

(ウ) 担当者：保健師

相談件数	来所相談 実人員	3名（延3件）
	〈内訳〉 定 期	3名（延3件）
	随 時	0名（延0件）
	電話相談 実人員	0名（延0件）
相談内容	不妊に関する相談	6件
	婦人科疾患、更年期障害に関する相談	2件
	メンタルケア	1件
	その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談	1件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 67名（延107名）

(イ) 不妊専門相談センター利用者 0名

3 歯科保健事業関係

(1) 母と子のよい歯のコンクール実施状況

青森県歯科医師会と共催事業。健康な歯をもつ母と子を表彰し、幼児や父母及び地域社会の歯科保健への関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

期 日	平成 24 年 6 月 2 日（土） 13：00～15：00
場 所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	63組 受診者：11組
講 評	上十三歯科医師会長 沼山 助直 氏

審査の結果：三沢市の母子 優秀賞：野辺地町・六戸町の母子 2組

（最優秀賞の母子は、私的事由により第二次選出への出席を辞退したため、次点で優秀賞に選ばれた野辺地町の母子を推薦した。）

(2) 上十三地域歯科保健推進委員会

期 日	平成 25 年 1 月 31 日（木）
場 所	保健所 2 階会議室
出席者	26名 （歯科医師 3、歯科衛生士 1、産業保健センター 1、養護教員 1、知的障害者福祉協会 1、介護支援専門員 1、保育所等関係者 1、食生活改善推進員 1、保健協力員 1、労働基準協会 1、市町村関係者 7、保健所関係者 7）
内 容	1 平成 24 年度歯科保健活動実施状況について 2 上十三地域の効果的な歯科保健対策について （1）ライフサイクルに沿った行動目標毎に各団体の取り組みについて情報交換した。 （2）歯科医、歯科衛生士から専門的な立場からの助言を聞くことができた。 （3）その他取り組みについて 3 その他

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

健康増進法に基づき、喫食者の健康増進に寄与する目的で給食施設における栄養管理について巡回指導及び研修会を行った。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設				計		総計
			1回あたり50食以上提供する施設		1回あたり50食未満提供する施設				
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
指導件数	16	1	16	3	9	9	41	13	54
対象給食施設数	45	12	51	27	13	21	109	60	169

イ 研修会

期 日	場 所	対 象	参 加 者 数	内 容
平成24年 4月19日	青森原燃テクノロジーセンター	上北中北部保育研究会 給食部会員	25名	【助言】 「保育所給食の手引きの活用について」 上十三保健所 船渡めぐみ
平成24年 6月19日	十和田市民文化センター (視聴覚ホール)	給食施設の栄養士・調理師等	232名	1 講義 「食中毒予防について」 上十三保健所 菊池裕子 「施設の衛生管理について」 上十三保健所 高橋むつみ 「災害時における給食状況調査結果」 上十三保健所 船渡めぐみ 2 情報提供 「喫煙対策について」 上十三保健所 大柳 友子

(2) 栄養表示、虚偽誇大表示に関する指導

健康増進法第31条、第32条の2に基づき、栄養成分及び健康の保持増進に係る食品表示について指導を実施した。

ア 栄養表示相談及び指導：10件

イ 虚偽・誇大表示相談及び指導：17件

ウ 表示相談及び確認：3件

(3) 食生活改善推進員の育成

食生活改善活動に従事する会員の活動を支援し、管内市町村食生活改善推進委員会の組織育成を図った。

管内市町村食生活改善推進員数 (平成24年5月14日現在)

市町村名	会員数	市町村名	会員数
十和田市	233	六戸町	47
三沢市	132	横浜町	19
野辺地町	34	東北町	88
七戸町	49	六ヶ所村	42
		計	644名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 市町村栄養改善業務支援事業研修会

管内市町村栄養改善業務担当者の資質向上を目的に研修会を開催した。

開催月日	開催場所	参加者数	内容
平成24年 9月21日	三沢市公会堂	7名	【講義及び実習】 「災害時における食事提供時の衛生管理」 講師 上十三保健所 技師 田中真希 【講義】 「災害時の大量調理と栄養管理」 講師 高松病院 栄養科長 佐藤愛子

イ 市町村への支援

(ア) 食生活改善推進員会研修会等の講師

十和田市：生活衛生課（1回）

三沢市：生活衛生課（1回）

横浜町：所長（1回）、生活衛生課（1回）、健康増進課（1回）

(イ) 食生活改善推進員会総会の出席

十和田市、三沢市、六戸町

(ウ) 十和田市食育推進計画への助言

(5) 外食栄養成分表示店定着促進事業

増加傾向にある外食の利用者が栄養情報に基づく適切な料理選択が行えるよう、飲食店を対象に、栄養成分の表示について普及啓発した。

平成24年度の表示店認定マーク交付数は0件であったが、管内飲食店から栄養成分表示に係る相談受け、栄養価算出方法等の技術支援を行った。

表示店の市町村別内訳（平成25年3月末 延べ27件）

十和田市	9	七戸町	3
三沢市	11	六戸町	1
野辺地町	1	東北町	2

(6) 調理師業務従事者届

調理師法第5条の2第1項により、施設において調理業務に従事している調理師から届出を受理し集計した。

調理業務に従事している調理師

(平成24年12月31日現在)

寄宿舍	学校	病院	事業所	社会福祉施設	介護老人保健施設	矯正施設	飲食店営業	魚介類販売業	そうざい製造業	その他	計
17人	77人	70人	56人	171人	15人	0人	7人	0人	1人	6人	420人

(7) 国民健康・栄養調査

国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣等の状況を明らかにし、健康増進対策等に必要の基礎資料を得ることを目的として、国民生活基礎調査の単位区から抽出された地区を調査した。

特に、今年度は、健康日本21の評価に伴う都道府県間の比較ができるよう、調査客体地区が増加した。

【調査地区】 十和田市東十三番町

【調査世帯】 60世帯

【調査内容】

調査名	内容	実施日
栄養摂取状況調査	食事内容(種類と量)の記入	平成24年11月6日
生活習慣調査	生活習慣に関するアンケートの記入	平成24年11月1日～16日
身体状況調査	調査世帯員の身体測定等	平成24年11月7日

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市区町村別・入院通院状況

(平成25年3月末)

医療区分 市町村名	総 数		入 院				通 院	その他
			小 計	措 置 入 院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	492	101	1	100		391	
	女	621	162	1	161		459	
	計	1,113	263	2	261		850	
三 沢 市	男	185	36	3	33		149	
	女	229	39	2	37		190	
	計	414	75	5	70		339	
野 辺 地 町	男	77	18	1	17		59	
	女	121	36	0	36		85	
	計	198	54	1	53		144	
七 戸 町	男	102	24	0	24		78	
	女	156	48	0	48		108	
	計	258	72	0	72		186	
六 戸 町	男	67	15	1	14		52	
	女	73	24	1	23		49	
	計	140	39	2	37		101	
横 浜 町	男	33	10	1	9		23	
	女	35	7	0	7		28	
	計	68	17	1	16		51	
東 北 町	男	96	7	0	7		89	
	女	128	21	0	21		107	
	計	224	28	0	28		196	
六ヶ所村	男	43	11	0	11		32	
	女	45	8	0	8		37	
	計	88	19	0	19		69	
八 戸 市	男	1	1	1				
	女	1	1	1				
	計	2	2	2				
太 田 区 (東 京 都)	男	2	2		2			
	女	0	0		0			
	計	2	2	0	2		0	
合 計	男	1,098	223	8	215		872	
	女	1,409	348	5	343		1,064	
	計	2,507	571	13	558	0	1,936	0

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成24年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
1	17	18	15	13	5	0	5

ウ 管内精神病院入院状況

(平成25年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	50	22	1
十和田済誠会病院	270	228	2
高 松 病 院	239	237	0
三沢聖心会病院	140	103	0
計	699	590	3

エ 精神科救急医療システム利用状況 (平成24年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
75	24	5	7	17	0	6	1	8	1	144

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数 (平成25年3月末)

	手帳所持者総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	578	193	305	80
三沢市	233	116	100	17
野辺地町	96	42	45	9
七戸町	114	47	58	9
六戸町	73	30	33	10
横浜町	37	17	17	3
東北町	110	43	54	13
六ヶ所村	51	21	26	4
計	1,292	509	638	145

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年12回(偶数月第3水曜日、奇数月第4水曜日)

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数 (平成24年度)

	総件数	再掲		
		定期	随時	電話
実数	87	10	30	47
延数	298	10	55	233

イ 目的別利用状況(延べ数) (平成24年度)

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	6	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	10
随時	8	2	14	1	0	1	0	0	0	0	11	0	0	18	55

ウ 市町村別件数（延人数）

（平成24年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	3	3	0	0	0	0	1	0	3	10
随時	35	5	0	0	6	3	0	2	4	55

（4） 訪問指導状況

（平成24年度）

事業区分	保健師（相談員含む）				その他の職員				合計			
	一 般	職 親 事 業	社 会 復 帰	計	一 般	職 親 事 業	社 会 復 帰	計	一 般	職 親 事 業	社 会 復 帰	計
実人数	26	5	0	31	0	0	0	0	26	5	0	31
延人数	59	20	0	79	0	0	0	0	59	20	0	79

（5） 社会適応訓練事業（職親制度）実施状況

ア 管内登録協力事業所

24年度末現在総数	（新規登録数）	職 種 内 訳
38ヶ所	2ヶ所	クリーニング業：3、食品製造販売業：6、小売業：4、畜産業：1、医療業：1、飲食業：6、農業：4、福祉関係：7、その他：6

イ 24年度実施状況

利用事業所	訓練者（うち新規）	訓練者の転帰
2ヶ所	3名（1名）	継続：3名
関係機関との連絡状況	協力事業所訪問	
	13回	

(6) 普及啓発活動

平成24年度は、「心の健康づくり事業」、「地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業」等により住民や関係者を対象とした健康教室等を実施した。

(実施状況)

1. 心の健康づくり事業

場 所	期 日	テーマ	講 師	対 象 者	参加者数
十和田市保健センター	平成24年 9月3日	ゲートキーパー養成事業	上十三保健所 主査 大柳 友子	青森県理容生活衛生同業組合 十和田・七戸支部員	49
横浜町ふれあいセンター	平成24年 9月25日	認知症について講演と寸劇	十和田市立中央病院メンタルヘルス科 竹内淳子医師 「じゅんちゃん一座」	上十三保健所管内保健協力員	122

2. 「地域特性を踏まえた自殺対策力」強化事業

(1) 会議等の開催状況

場 所	期 日	内 容	参加者数
上十三保健所	平成24年 8月9日	管内市町村精神保健福祉担当者会議	49
上十三保健所	平成25年 2月1日	精神障害者事例検討会 初任期・新任期保健師が対象	13
東北町	平成24年 11月21日	東北町こころの健康づくり（自殺予防）対策協議会に出席	25
十和田市	平成25年 2月6日	十和田市生涯健康づくり推進協議会 こころの健康づくり部会に出席	11

(2) 自殺対策の普及啓発

- ①事業・会議等で「眠れてますか」のスタッフジャンパーを着用し、自殺対策の普及啓発を実施
- ②「上十三地域自殺対策総合対策ネットワークの手引き」（一部改定）をネットワーク会議で配布。
- ③各会議、研修参加者への相談窓口一覧、うつ病等のパンフレットを配布、保健所の自殺対策事業の紹介

(3) 青森多重債務被害等をなくす会（青森りんごの会）との協働事業

- ①借金・多重債務とこころの無料相談会への従事（2回）
- ②公開講座「多重債務からの立ち直りを考える」

日時：平成24年8月11日

場所：サン・ロイヤルとわだ

参加者数：104名

(7) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。

ア 精神障害者家族会

	家族会	会員数	活動内容等	作業所等運営 (名称)
家族会	とわだ家族会 (十和田市)	11	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・学習会 ・会員間の交流 ・作業所等の運営 ・当事者の会やデイケアへの協力 ・管内合同の学習・交流会 	
	さつき家族会 (三沢市)	8		「ワークハウスさつき」
	山ざくらの会 (六戸町)	7		
	つつじ家族会 (東北町)	8		つつじ作業所
家族懇談会	野辺地町精神障害者家族懇談会	5		
	七戸町精神障害者家族懇談会	6		
	横浜町精神障害者家族懇談会	4		

イ 精神障害者家族会活動への支援

	回数	内容
つつじ家族会 (東北町)	1	つつじ作業所運営委員会に出席
上十三地域 精神障害者家族学習交流会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事務局は、さつき家族会（三沢市）が担当 ・実行委員会 3回 ・学習交流会 1回 期日：平成24年10月15日 場所：三沢市総合社会福祉センター 参加者：103名 テーマ：「笑顔でつながる明日へ」 内容：講演「働く」一緒に考えよう 講師 公益財団法人こころすこやか財団障害者就業・生活支援センターみさわセンター長 坂下 優子氏 家族会の活動紹介、情報交換会（家族）レクリエーション <ul style="list-style-type: none"> ・上十三地区精神障害者家族学習交流会実行委員会打合せ 1回 次年度の開催等について協議した。

ウ 回復者クラブ

名称	三木野クラブ（十和田）	きざきのクラブ（三沢）
開催回数	月1回 年12回	月2回 年24回
会員数	10名	5名

エ 精神保健福祉ボランティア

名 称	会員数	活動内容
駒の会 (十和田市)	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主運営 ・ 定例会：月1回 ・ 自主活動 こころのふれあいサロン「おあしす」(第1土曜日) ・ 三木野クラブ(回復者クラブ)(年12回)活動協力 ※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。
さつき友の会 (三沢市)	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主運営 ・ 自主活動：「サロンひだまり」(年11回)を開設 ・ きざきのクラブ(回復者クラブ)(年12回)への活動協力 ・ 青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等 ※平成14年4月に組織化

オ ボランティア、民間団体活動支援事業

名 称	期 日	内 容
特定非営利法人ワークハウスとわだ	平成24年5月24日	平成24年度総会 平成23年度活動報告及び収支決算 平成24年度事業計画及び予算

(8) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議(所内)

期 日	開催内容	出席者
平成24年 6月8日	平成24年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、健康増進課長、精神保健福祉担当保健師及び事務担当者、健康増進課員
平成25年 2月18日	平成24年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
管内精神保健福祉事務担当者会議	平成 24 年 8 月 9 日	精神保健福祉手帳及び自立支援医療の事務処理の留意点の周知。	15名出席 市町村事務担当者 保健所保健師・事務担当者
管内精神保健福祉担当者会議（保健師）	平成 24 年 9 月 28 日	精神保健福祉活動及び上十三地区精神障害者家族学習交流会に関する情報共有及び意見交換。	15名出席 市町村保健師 保健所保健師
精神障害者社会復帰支援協議会	平成 25 年 1 月 21 日	・社会適応訓練事業の実施評価及び新規事業所の協議 ・地域移行支援特別対策事業の報告・協議 ・精神障害者社会復帰にむけて意見交換	30名出席 精神科医師、医療機関 PSW、社会復帰施設、職業安定所、協力事業所、家族会、障害者就労支援事業所、市町村担当者
上十三地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 25 年 2 月 22 日	精神科救急医療システムの運営状況について報告し、円滑な運営に向けて協議。	25名出席 連絡調整委員会委員 （上十三医師会、救急医療施設、警察署、消防本部、地域家族会）市町村担当者
上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議	平成 25 年 2 月 22 日	・報告：上十三地域の自殺の現状及び上十三保健所管内の自殺対策の取り組み状況について ・話題提供：「上北管内児童生徒の状況と諸問題に対する対応」 話題提供者：上北教育事務所 主任指導主事 今井 昇氏 ・意見交換：上十三地域における今後の自殺対策について	各関係機関から実務者レベルの代表者 37名出席 【内訳】 ・地域保健医療福祉関係 8機関 （医師会、精神科医療機関、民生児童委員会、社会福祉協議会、市民ボランティア、市町村等） ・職域関係 6機関 （地域産業保健センター、司法書士会、弁護士会、教育事務所、警察署、消防本部）

ウ ケース会議等

会議名	場 所	回数	備 考
精神障害者 ケース検討会	・三沢総合社会福祉センター	3	関係者間での処遇困難ケースへの支援について検討。 （三沢市ケアマネジメント会議含む）
	・六戸町役場	1	
	・十和田市立中央病院	1	
	・十和田済誠会病院	2	
	・三沢聖心会病院	1	
	・上十三保健所	4	
アルコール保健 普及啓発事業			個別相談で対応

(9) 精神障害者地域移行支援特別対策事業

精神科病院に入院している精神障害者のうち、受入れ条件が整えば退院可能である者に対し、円滑な地域移行を図るための支援を行い精神障害者の社会的自立を図ることを目的に、19年度から開始した。

平成 24 年 4 月 1 日より障害者自立支援法に基づく地域相談支援（地域移行支援、地域定着支援）として個別給付化されている。利用者はなし。

6 難病関係

(1) 特定疾患治療研究事業

原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち下記の特特定疾患については、治療が極めて困難であり、かつ、その医療費も高額であることから、医療の確立、普及を図るとともに医療費の自己負担軽減を図ることを目的としている。

平成21年10月1日より11疾患が追加され、対象疾患が56疾患になった。

(追加疾患名：疾患番号46～56)

ア 特定疾患医療受給者状況（市町村別）

(平成25年3月末)

疾患番号	疾患名	管内計	市町村								
			十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	
合 計		1,159	414	247	117	106	60	33	127	55	
1	ベーチェット病	27	6	4	9	1	1		6		
2	多発性硬化症	22	4	10	3	3	1		1		
3	重症筋無力症	26	11	9	1	1	2			2	
4	全身性エリテマトーデス	74	22	17	5	7	9	3	2	9	
5	スモン										
6	再生不良性貧血	15	3	1	1	5	1	2	1	1	
7	サルコイドーシス	23	10	2	3	2		1	4	1	
8	筋萎縮性側索硬化症	9	3	1	2				3		
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	26	6	8	2	4	2	1	3		
10	特発性血小板減少性紫斑病	46	15	14	1	5	3	1	7		
11	結節性動脈周囲炎（顕微鏡的多発血管炎）	10	4	3				1	1	1	
12	潰瘍性大腸炎	153	51	30	15	14	5	5	25	8	
13	大動脈炎症候群	10	1	6			1		1	1	
14	ビュルガー病	17	4	7	4		1			1	
15	天疱瘡	9	2	2		3	1	0	1	0	
16	脊髄小脳変性症	162	91	16	11	21	6	2	13	2	
17	クローン病	51	14	11	4	7	5	2	3	5	
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎										
19	悪性関節リウマチ	7	3	1	1	1		1			
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	183	59	41	20	13	11	7	24	8	
21	アミロイドーシス	3	1				1		1		
22	後縦靭帯骨化症	70	27	16	6	2	4	3	7	5	
23	ハンチントン病	2		2							
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	13	5	3	3			1		1	
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	1								
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	18	12	4					1	1	
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシヤイ・ドレーガー症候群）	14	2	4	2	1	1	1	2	1	
28	表皮水疱症（接合型及び栄養障害型）										
29	膿疱性乾癬	4	2	1	1						
30	広範脊柱管狭窄症	6	1	1		1			3		
31	原発性胆汁性肝硬変	26	8	6	6	2	1		2	1	
32	重症急性膵炎										
33	特発性大腿骨頭壊死症	35	13	2	3	8	3	1	3	2	
34	混合性結合組織病	17	6	5	2	1			1	2	
35	原発性免疫不全症候群	1			1						

疾患番号	疾患名	管内計	市町村							
			十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
36	特発性間質性肺炎	8	2	5	1					
37	網膜色素変性症	21	5	9		2	1		2	2
38	プリオン病									
39	肺動脈性肺高血圧症	5	1	1	3					
40	神経繊維腫症	5	1						3	1
41	亜急性硬化性全脳炎									
42	バット・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	1			1					
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症									
44	ライソゾーム病 (ファブリー[Fabry]病含む)									
45	副腎白質ジストロフィー									
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)									
47	脊髄性筋萎縮症									
48	球脊髄性筋萎縮症									
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7	4	1	2					
50	肥大型心筋症	7	5			1			1	
51	拘束型心筋症									
52	ミトコンドリア病	1	1							
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)									
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)									
55	黄色靭帯骨化症	2	1		1					
56	間脳下垂体機能障害 (PRL 分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性 TSH 分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	22	7	4	3	1		1	6	

イ 特定疾患医療受給者状況（年齢別）

（平成25年3月末）

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				9歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	70歳以上
合計			1,159	3	17	67	118	128	174	239	413
1	ベーチェット病		27			1	7	3	7	3	6
2	多発性硬化症		22			4	7	2	4	2	3
3	重症筋無力症		26		1	3	1	4	7	4	6
4	全身性エリテマトーデス		74	1	4	7	16	11	18	12	5
5	スモン										
6	再生不良性貧血		15			2	1		2	4	6
7	サルコイドーシス		23			3	2	3	6	5	4
8	筋萎縮性側索硬化症		9							6	3
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎		26			1	2	3	7	7	6
10	特発性血小板減少性紫斑病		46	1	1	6	3	7	5	9	14
11	結節性動脈周囲炎（顕微鏡的多発血管炎）		10				2	1		3	4
12	潰瘍性大腸炎		153		3	17	30	30	34	21	18
13	大動脈炎症候群		10			2	2	1	3		2
14	ビュルガー病		17					5	7	4	1
15	天疱瘡		9						3	3	3
16	脊髄小脳変性症		162		1	1	1	4	10	49	96
17	クローン病		51		3	11	15	8	7	5	2
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎										
19	悪性関節リウマチ		7				1	2		2	2
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）		183					2	10	34	137
21	アミロイドーシス		3						2		1
22	後縦靭帯骨化症		70				2	7	8	15	38
23	ハンチントン病		2					1		1	
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）		13	1		1	4	5	1	1	
25	ウェグナー肉芽腫症		1				1				
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症		18				1	1	5	5	6
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）		14					1	1	7	5
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）										
29	膿疱性乾癬		4					2		1	1
30	広範脊柱管狭窄症		6				1		2		3
31	原発性胆汁性肝硬変		26						6	9	11
32	重症急性膵炎										
33	特発性大腿骨頭壊死症		35			2	8	5	10	5	5
34	混合性結合組織病		17				2	6	4	5	
35	原発性免疫不全症候群		1					1			
36	特発性間質性肺炎		8							3	5
37	網膜色素変性症		21				2	1	1	5	12
38	プリオン病										
39	肺動脈性肺高血圧症		5			1		2			2
40	神経繊維腫症		5		1	1		2	1		
41	亜急性硬化性全脳炎										
42	バット・キアリ（Budd-Chiari）症候群		1		1						
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症										
44	ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病含む）										
45	副腎白質ジストロフィー										
46	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）										
47	脊髄性筋萎縮症										

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				9	19	29	39	49	59	69	歳以上
48	球脊髄性筋萎縮症										
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7				1	2			3	1
50	肥大型心筋症	7					2	2	2	2	1
51	拘束型心筋症										
52	ミトコンドリア病	1								1	
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)										
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)										
55	黄色靭帯骨化症	2								2	
56	間脳下垂体機能障害 (PRL 分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性 TSH 分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	22		2	4	6	4	4	1	1	4

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 医療相談等

平成24年度難病フォーラムとの併催で実施した。

回	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成24年 9月29日	十和田市 中央公民館	第一部「みんなで支え合う難病」 医療講演 「神経難病を理解し、病気と付き合うために」 講師 弘前大学医学部神経内科准教授 松原 悦朗氏 活動紹介 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」 紹介者 細井 ゆきえ氏 第二部 分科会 筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、膠原病の分科会に分かれて交流会を実施。 個別相談の実施 相談者4名	105名 (患者及び家族 67名 関係者等 31名 保健所 7名)

イ 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

訪問相談 件 数	疾 患 群 別 内 訳						
	神経・筋肉 疾患	循環・呼吸 器疾患	骨・関節系 疾患	膠原病	消化器 疾患	血液疾患	皮膚疾患
(13) 48	(11) 44	(1) 2	(1) 2	0	0	0	0

()内は実数

(3) 保健師による訪問指導

訪問件 数	疾 患 別 内 訳						
	筋萎縮性側 索硬化症	脊髄小脳 変性症	パーキン ソン病	後縦靭帯 骨化症	多系統 萎縮症	ハンチン トン病	その他
(11) 20	(4) 4	(2) 8	(5) 8	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0

()内は実数

(4) 在宅重症難病患者家族支援事業

- ア 目的:在宅療養を行っている重症難病患者(人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症の患者をいう。)を常時介護している家族が、社会的理由が生じた場合並びに休息をとる場合に看護人が家族に代わって介護することにより、家族の社会参加を促すとともに、ALS患者の在宅療養の環境を整え、患者、家族の生活の質の維持向上を図ることを目的とする。
- イ 利用回数:1ヶ月1回を限度とし、1回あたりの利用時間は、7時間とする。
ただし、対象者の状況により、1回あたりの利用時間を4時間とし、1ヶ月の利用回数を2回まで分割することができる。
- ウ 管内利用者:1名

(5) 健康相談状況

新規の特定疾患医療受給者証交付時に難病相談を実施。また、面接及び電話による随時健康相談も実施した。

(平成24年度)

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
145件	139件	6件

(6) 患者会の育成・自主活動支援

- ア 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援
平成9年3月27日に患者会として発足し、平成18年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は定例会に講話の講師等を行った。平成24年度は1回実施。また、新規の特定疾患医療受給者証交付時に「みさわ・もみじの会」の紹介のリーフレットを配布した。

(7) 関係機関との連携、地域の療養環境整備等

- ア 関係機関との連携について
退院前カンファレンス 2回
(県立中央病院、十和田第一病院)
在宅特定疾患療養者ケース会議(野辺地町) 1回
- イ 関係者への情報提供
第1回管内保健師連絡会、本庁主催の難病担当者会議で「難病地域ケアコース」について研修伝達した。

7 石綿（アスベスト）に関すること

- ア 環境再生保全機構により送付されたポスター、リーフレットを保健所内に掲示し、住民に対しての周知を行った。
- イ 石綿（アスベスト）関連事業場周辺にいた住民の健康不安に対応するため、健康に関する問題について相談を受け、石綿による健康被害を受けた方が生活・療養等の補償が受けられるように、被害救済給付申請の受付を行った。

《相談受付実施状況》

相談内容	件数	対応
平成14年に亡くなっている方の家族からの相談。独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構（三沢防衛事務所）から、退職者へ「労災補償制度の改正等のお知らせ」が届いた。肺がんで亡くなっているが、特別遺族給付金の対象とっていなかった。労働基準局には相談していなかった。救済給付申請をした方が良いのか。	1	相談先は労働基準監督署（独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構からの確認） 石綿が原因であることが分かれば申請可能（労働基準監督署からの確認） 《家族》死亡から10年を経過しているため、診断書等の書類の提出が困難。書類が入手できても却下の可能性もあるので、今回は申請しない。

《特別遺族弔慰金請求申請》

請求に係る疾病名	件数	市町村
中皮腫	1	三沢市

8 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築に向けて、二次保健医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議・検討を行うことを目的に、会議を開催してきた。

今年度は、十和田市立中央病院が在宅医療連携拠点事業を実施し、関係者の連携を図るための会議（上十三地域連携パスネットワーク協議会と在宅医療連携会議を併催）を開催しており、また委員として参画していることから会議の開催はなし。

(2) 包括ケアシステムに係る現地懇談会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 24 年 5 月 30 日	天間林保健センター	七戸町の保健福祉の現状 情報提供 ・七戸町における保健・医療・福祉包括ケアシステムの取組状況 ・七戸町における保健師活動・壮年期の健康づくりの取組から 懇談	28名 青森県知事、健康福祉部長、上北地域県民局長、七戸町町長他関係職員

(3) 橋渡しネットワーク委員会への支援

本委員会は、医療機関の利用者が、退院して地域に生活の場を移行する場合に、適切な退院調整や情報提供を行い、地域において適切なサービスを受けられるように、また、地域で療養している方が医療機関に入院する場合に、スムーズに移行できるように、医療機関と地域を結ぶ橋渡しのためのネットワークを構築することを目的として活動している。

委員会活動は、本委員会が作成した「橋渡し看護の手引き」の改訂を重点的に行った。また、十和田市立中央病院が開催している上十三地域連携パスネットワーク協議会や在宅医療連携拠点事業と連動しながら実施した。

平成 24 年度新規事業 地域医療・地域介護連携担当者の意見交換会と併催した。

ア 委員 12 名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、老人保健施設とわだ、十和田市地域包括支援センター、野辺地町地域包括支援センター、七戸町地域包括支援センター、上十三保健所

イ 会議開催状況

回数	期 日	場 所	内 容
1	平成24年 5月25日 (金)	十和田市立中央病院3階会議室	「橋渡し看護の手引き」の改訂施設情報(医療機関、福祉施設アンケート)を実施。
2	平成24年 8月 1日 (水)		
3	平成24年10月10日 (水)		
4	平成24年11月28日 (水)		
5	平成25年 2月15日 (金)		

(4) 介護予防事業及び市町村支援 延べ15回

各市町村の包括ケア会議、サービス調整会議、ケアマネジメント会議等へ委員として出席し支援した。

9 地域保健支援のための総合的地域診断システム構築事業

総合的地域診断システム推進事業は、県及び各保健総室（保健所）における情報分析機能を強化するとともに、保健所関連業務に係る各種情報をデータベース化する過程を通して質的データの分析手法を確立するものである。

平成23年度は、総合的地域診断手法定着事業として実施。

平成24年度は、糖尿病に着目し糖尿病地域診断機能強化推進事業として実施。

(1) 糖尿病地域診断機能強化推進事業

ア 健診等関連データ分析結果の効果的な活用を図るために、各市町村にアンケートを実施。

- ・管内市町村で実際にツールを使用しているのは、2か所
- ・活用していない6市町村は活用に向け検討中

イ ツールを用いた糖尿病関連の健診導データ集計

特定健診における糖尿病関係データを集計し、各市町村に情報提供した。

(2) 健康教養普及定着事業（新規）

県民の行動変容に繋がるよう各ライフステージに関わる関係機関が連携・協働してエビデンスに基づく情報・資料を基に教材等を作成し、普及啓発活動を行うとともに、共通の情報を繰り返し県民に提供できるよう医師等の専門職や保健協力員等の地区組織団体を対象とした研修を行い、普及啓発活動の担い手を育成する。

ア 上十三保健所健康教育サポーター人材育成研修会の開催

日時：平成25年3月4日（月）13：00～14：30

場所：上十三保健所2階会議室

対象：管内各市町村の保健協力員役員及び食生活改善推進員役員各2名

出席者 38名

講師：青森県薬剤師会衛生検査センター 所長 川村仁

内容：「健康教養向上のための健康教育のポイントと教材の活用」

イ 健康教育サポーター人材育成研修会（専門職種を対象とした研修会）への参加

日時：平成25年2月22日（月）15：00～16：00

場所：県民福祉プラザ

対象：薬剤師、看護師、保健師、助産師、栄養士等

講師：健康福祉部 齋藤がん対策推進監

内容：「健康情報と情報リテラシー」

10 実習・研修関係

(1) 地域看護実習

大学名	実習期間	実習人員
青森県立保健大学 健康科学部看護学科	H24.6.11～6.13 3日間	9名
	H24.6.18～6.20 3日間	10名
	H24.9.12～9.13 2日間	1名
弘前大学医学部保健学科 看護学専攻	H24.7.3～7.5 3日間	7名
弘前学院大学看護学部	H24.9.12～9.14 3日間	7名
	H24.9.19～9.21 3日間	6名
弘前医療福祉大学 保健学部看護学科	H24.10.10～10.12 3日間	5名
計	20日間	45名

(2) 管理栄養士学生実習

大学名	実習期間	実習人員
青森県立保健大学健康科学部栄養学科	5日間	3人
学校法人 白百合学園 仙台白百合女子大学		1人
計	5日間	4人

(3) 初任期・新任期保健師研修

21年3月に新たに策定された「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、初任期保健師研修（採用1年未満）と、新任期保健師研修（採用1年以上～5年未満）に区分し研修を実施した。

ア 対象者

初任期保健師：六戸町1人、横浜町1人、上十三保健所1人

新任期保健師：十和田市2人、三沢市1人、野辺地町1人（産休）、六戸町1人、横浜町1人（産休）、上十三保健所1人

イ 実施状況

初任期保健師研修（5回）

回数	研修日	内 容	参加人数
1	平成24年 8月1日	公衆衛生における保健所の役割と機能について、管内の健康課題と活動状況、指導予防課及び生活衛生課業務について、話し合い（新任期保健師研修合同）、事例検討の振り返り	3人
2	平成24年 8月23日	「乳幼児の運動発達」	3人
3	平成24年 11月2日	施設見学と事例検討	3人
4	平成24年 12月20日	講演：事例検討の効果的な進め方 講師：元杏林大学 塚原洋子氏	3人
5	平成25年 2月1日	事例検討、先輩保健師からのメッセージ	3人

新任期保健師研修（3回）

回数	研修日	内 容	参加人数
1	平成 24 年 8 月 1 日	事例検討：前年度事例検討の振り返り 話し合い（初任期保健師研修合同）	6 人
2	平成 24 年 11 月 2 日	施設見学と事例検討 （初任期保健師研修合同）	4 人
3	平成 25 年 2 月 1 日	事例検討 先輩保健師からのメッセージ （初任期保健師研修合同）	5 人

（4）新任等保健師育成支援

市町村の20歳代等の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援することとし、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的とし実施した。

1) 実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	トレーナー保健師	実施日数
六戸町	田中 啓子氏	39日
横浜町	北山 つね子氏	23日
三沢市(2年目)	畑山 政子氏	20日

2) 上十三保健所（青森県保健所保健師等育成支援事業）

トレーナー保健師名：北山 つね子氏 実施日数：28日間